

評価コメント

- ・患者ニーズをとらえて行った事業である。完治をめざしアレルゲンの同定、知識の普及、特に真菌・昆虫アレルゲンについての検討を行っている。
- ・チャタテムシの中のヒラチャタテのアレルゲンとしての重要性を一貫して強調してきたことは評価できる。
- ・気管支喘息における原因アレルゲン診断は、根本療法としての環境整備のためには重要なことである。最近の吸入ステロイド等の薬物療法至上主義ともいえるべき状況において、喘息診療医が原因アレルゲン診断、暴露回避の重要性を再確認するためにもアレルゲンに対しての知識の普及等は重要である。
- ・地域性を考慮した主要吸入アレルゲンのスクリーニングパネルの提示と、解説書ならびに手引きを準備により、実地臨床の均質化と、なおざりになりがちなアレルゲン回避の重要性を喚起する意識がある。
- ・RAST陽性率のクラスター解析からスクリーニングに必須な項目の地域特性の存在の意義に着目したことも有用な知見。
- ・ABPAに特異性93%という特異性の高いアスペルギルス抗原—抗IgE抗体を発見したことは独創的で価値のある成果である。現在、ABPAは早期診断が非常に難しい。これをABPAの早期の診断基準の一つに加えることができれば、その臨床的有用性は非常に大きい。さらに症例数を増やして、これについて十分検討することが望まれる。
- ・科別のアレルゲン陽性率の検討から陽性率の地域差(クラスター解析)さらにはアレルゲンパネルの作成を行った。
- ・患者・医師向けの手引書の作成等アレルゲンの重要性についての啓発を行った。
- ・一応当面所期の目的は達成したのではなかろうか。
- ・地域によってアレルゲンの特徴が異なることを明らかにし、効率的なスクリーニングパネルを作成したことは評価できるが、現在のパネルと同等かそれ以下の費用でできるように工夫が必要である。
- ・ABPAや昆虫アレルゲンの重要性についてもアレルゲンの解析、診断への応用等へ力が向けられていて、患者への教育の効果等について述べられていない点に更なる努力が求められる。
- ・アレルゲンの研究は臨床アレルギーの観点から有用である。だが、検討すれば検討するだけアレルゲンは増える可能性がある。
- ・ヒラチャタテの抗体陽性の臨床的意義がはっきりしないので今後も研究を継続する必要がある。